

平成24年度 事業実績報告書

申請者の概要

申 請 者	団体名	熊取町商工会
	代表者職・氏名	下中 一晃
	所在地	〒590-0451 大阪府泉南郡熊取町野田2-9-20
	担当者	職・氏名 事務局長 廣瀬 正和
	連絡先	電話番号（直通）： 072-453-8181
		F a x: 072-453-8183
		E - m a i l: kumatori@silver.ocn.ne.jp
①設立年月日		昭和59年7月10日
②職員数 (うち経営指導員数)		6名(内経営指導員 6名)
③所管地域		熊取町
④管内事業所数		1,298(平成18年度事業所統計調査による)
⑤管内小規模事業者数		1015(平成18年度事業所統計調査による)
⑥会員数(組織率)		684(52.7%)(平成25年3月31日現在)
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと		
□主な事業概要(定款記載事項等)		
<p>①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 ③商工業に関する調査研究を行うこと。 ④商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 ⑤展示会、共進会を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 ⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑦商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 ⑧行政庁等諮問に応じて、答申すること。 ⑨社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑩商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む。)を処理すること。 ⑪商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 ⑫行政庁から委託を受けて事業を行うこと。 ⑬外国人研修生の受入れに関する事業を行うこと。 ⑭前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事務を行うこと。</p>		

熊取町商工会

(1) 事業の目標

事業者が抱える課題の把握とその解決に向けた適時・適切な支援を行い各種団体、支援機関等と連携を図りきめ細やかな相談支援を行うと共に地域活性化に係る事業を推進し、また泉南・阪南・岬・熊取町商工会等が広域にて連携を図り事業を推進し、商工業の安定的な振興活性化を図る。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

経営相談支援事業については、事業者と指導員の接する機会を増やすべく、巡回を主体として事業者に対し情報等を提供し、事業者と密にすることにより事業所が抱える経営課題や要望等を把握し、また指導員間で情報を共有することにより事業所のニーズに合った情報等の提供や支援の提案を行い経営課題の解決に向けた支援を図り、必要に応じて関係機関や専門家とのコーディネートをすることにより問題解決を図った。

専門相談支援事業は、税務支援を実施し、年末調整・確定申告時期に合わせ税制への理解を示すことができた。

地域活性化事業については、DMや広報等を通じて事業者に周知し、また事業のニーズに合った事業所を個別訪問するなどし、事業の参加を促し併せて相談支援等を含めた事業の実施、支援活動を行った。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

経営相談支援事業は、指導員間での情報を共有し様々な情報・提案を行うことにより事業所ニーズに迅速かつ的確な支援・糸口を見出し、その問題に対して速やかな対応・対策を支援し、経営課題の解決を遂行することができ、事業所も意欲的に取り組む様に思われ、また商工会に対しての信頼感を高め身近な相談窓口として機能している。

専門相談支援事業は、税務を主にし税の正しい認識・申告・納税への理解を深めることができた。

地域活性化事業は、町内事業所を積極的にアピールする場を提供することにより、新規顧客の獲得や売上増加・自社PR・BtoB等の成果も上がりビジネスチャンスへと繋げることができた。またセミナー等については事業主・従業員等の資質の向上、知識の習得にも繋がり効果的であったとの好評も得ることができた。事業所に様々な事業機会を提供することができ地域活性化の一助として機能することができた。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

経営相談支援事業を活用した事業所や地域活性化事業の参加事業所においては、一応の成果・効果を見出すことができたが、利用されていない事業所への相談支援や活性化事業の活用の浸透を図るべく情報等提供し積極的にアプローチを行い、地域活力の向上に努め様々な事業等を展開し推進して行きたい。

(5) 来年度への取り組み

経営相談支援・地域活性化事業のより浸透を図るべく、利用頻度の低い事業所に対し巡回等の強化を行い各種情報等を提供し掘起しを行い、事業所が抱える経営課題や問題点を把握し事業所に問題提起しより効果的な解決策を講じ事業所と密となり取り組んで行く。また熊取町が転入促進施策の一環として、企業誘致や若年世代の転入促進策の事業を推進している。熊取町と連携して諸事業を実施し、転出の抑制、転入の促進、企業誘致を促していき、魅力ある街づくりを推進し地域産業の活性化を図って行きたい。

熊取町商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

前年度の相談支援実績のある事業所に対し、様々な情報等を提供し、また指導員間の情報を共有することにより、事業所が抱える経営課題や諸問題等を把握しその解決に向けた方策等を適切な支援・サービスを提供すべく様々な提案や各関係機関・専門家等への連携を図り、より事業所と密接した対応を行いワンストップ的な機能をはたすことにより、課題解決や経営の改善に役立てて頂けた。また大阪府の利用者満足度調査においても高い評価を得、商工会への信用性や信頼性をより強化を図りサービス向上に努め地域産業の振興・活性化へと繋げていきたい。

事例として、A社は、主に工業用繊維資材の製造・販売を行っており、技術力の高さでも一目置かれる企業である。企業としても技術力の高さを広くアピールし製品に付加価値をもたらすために「大阪ものづくり優良企業賞2012」のエントリーや中小企業地域資源活用促進法の法認定の申請などを行っており、商工会ではそれらの申請に当たり専門家の派遣をし、添付資料の作成のアドバイスをを行い、無事、受賞及び認定を受けることができた。また、コスト削減の一環として節電設備の導入を行うためにマル経融資を活用した。その際、希望融資額より大幅減額での打診がありましたが、担当者との交渉の末、満額といかなかったが、減額金額を大きく減らすことができ、無事、設備の導入ができることとなった。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	176	176	100.0%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	30	30	100.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	17	19	111.8%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	16	16	100.0%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	0	#DIV/0!	
資金繰り計画作成支援	事業所	53	50	94.3%	5
記帳支援	支援数	16	21	131.3%	5
労務支援	支援数	10	10	100.0%	5
人材育成計画作成支援	事業所	1	1	100.0%	5
マーケティング力向上支援	事業所	0	0	#DIV/0!	
販路開拓支援	事業所	104	102	98.1%	5
事業計画作成支援	事業所	0	0	#DIV/0!	
創業支援	事業所	2	2	100.0%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	2	2	100.0%	5
コスト削減計画作成支援	事業所	75	72	96.0%	5
財務分析支援	事業所	18	18	100.0%	5
5S支援	事業所	8	10	125.0%	5
IT化支援	事業所	2	2	100.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	1	1	100.0%	5
結果報告	事業所	176	176	100.0%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

年末調整・確定申告時期等を重点相談日として実施し、事業者に対し高度で複雑な問題・課題に対して解決すべく専門家を招聘した。その結果、事業者の高度な問題や課題に対して解決ができ、また税制にたいして理解を深めてもらうことができた。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	30	30	30	100.0%	5
					#DIV/0!	
					#DIV/0!	
					#DIV/0!	
					#DIV/0!	
					#DIV/0!	

熊取町商工会

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

単独事業においては、駅下情報発信事業・軽トラ市を販路開拓の一環として自社をアピールする場を提供し、町と連携を図り幅広く広報等を行いま、参加事業所においても商工会が支援・バックアップし自社商品等を積極的にアピール・アプローチを行うことにより、町内外の新規顧客の獲得や売上の向上をもたらし、事業主も意識の変化を与えることができた効果的であった。

広域事業においては、ものづくり展を実施し、参加事業所の商談・アピールの機会の場合として交流会を開催したところ、各々の事業所が積極的に自社をアピールし商談機会を模索し意欲的であった。開催時には約2万人の来場を頂き多くの方々に自社商品等をアピールすることもできました、後日顧客の来店があった事業所や商談の話が進んでいる事業所もあり成果は得られた。新エネルギーセミナーでは震災の影響もあり多くの方が興味を示され聴講頂くことができた。関心を持って頂けた事業所もあり、参加者には理解頂けたと考え効果的であった。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	駅下情報発信事業	48	48	100.0%	85.6	新規顧客獲得・売上増加した事業所	10	16	160.0%	5
	軽トラ市	30	28	93.3%	70	新規顧客獲得・売上増加した事業所	20	16	80.0%	5
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	

(2) 広域事業(幹事事業のみ)

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	ものづくり展	34	31	91.2%	74.2	商談の成り立つ可能性のある事業所	30	23	76.7%	5
○	新エネルギーセミナー	40	42	105.0%	62.1	関心を持った企業	10	11	110.0%	5
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

熊取町商工会

事業名		駅下情報発信事業							
想定する実施期間		22 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	熊取駅舎に町施設駅前住民サービスコーナー「駅下にぎわい館」が設置されており、「出会いとにぎわいの拠点」旬の情報発信ブースとして、商工会展示ブースが設置され、各企業の製品展示等PRの情報発信拠点として有効活用し、町内企業の活性化を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	町内事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	JR熊取駅下の「駅下にぎわい館」の一角に商工会展示ブース設置されており、ブース内4小間展示することが出来、出展者には、平成24年4月～平成25年3月までの12ヶ月の期間の内、1社1ヶ月の展示を実施し、毎月4社がアピールできる。自社・製品等のPRを行なうべく有効に活用し、広く住民等へアピールして頂き、新たな顧客等の獲得や企業間コラボなどに活用する。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	にぎわい館の広報や町展示ブースの充実を図り来店者数を増加することができた。	④相談相乗	展示に係る展示素材の選定やディスプレイ等の支援を行い。展示、アピールを行うことで、より効果的な手法を検討する機会を与えることで事業主の意識の変化を与えることができた。
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	48	支援企業数(実績)	48	支援実績率	100.0%	満足度	86
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	アンケート調査結果より、「今回展示して良かった」という事業所が48社中43社あり5社については展示して良かったものの効果を実感できなかった分、「わからない」との回答を得ている。また、新規顧客の獲得や売上増加を図ることができた事業所も16社得ることができ、展示したことにより自社・製品等をアピールすることができた。展示された事業所においては、ディスプレイやPOP等の支援を行うことにより、色々検討され、自社・製品等のアピールをすべく、積極的に取り組まれた結果、アピール効果もありまた、顧客数の増加や新規顧客等の成果も得ることができ、出展者には好感を得ることができた。展示事業所では、より積極的により効果的なアピールの方策等を模索されるなどの変化もあり、意識の改善を図ることができ自社内の活性も図ることができた。							
		指標	新規顧客獲得・売上増加した事業所						
		数値目標	10	実績数値	16	目標達成度	160.0%		
	成果の代表事例	生徒の募集をしているジムや教室を営む事業所では、展示期間中に多くの方々にとって頂き、問合せ等もあり数名の新たな生徒の獲得を得ることができ、今回の展示において新規顧客の獲得ができたことにより、より積極的なPRをしていきたいという意欲が現れ、従業員にも波及し事業所に変化を与えることができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	#DIV/0!			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	引き続き町と連携を図り来店者数の増加を図り、より多くの方々に見て頂き事業所が積極的にアピールすることにより事業の活力の向上を促し、産業の活性化、振興を図っていききたい。							

熊取町商工会

事業名		軽トラ市							
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	熊取町においては、商店街もなく町内に点在しているのが現状であり、町内外のスーパー等へ流出しており、厳しい状況である。町内の事業者を軽トラ販売を行い商店を一点に集積し、町内商業、商品や地場商品をアピール等を行い町内での購買力を高めることを目的とし、また創業予定者についても呼びかけ、開業に向けての準備期間としての、商品PR、ニーズ調査の場として提供し、会場近隣には歴史建造物もあるので観光の一環としても効果も伺える。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	町内事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	『軽トラ市』を次のとおり実施した。 開催日：平成25年3月10日(日) 開催場所：熊取交流センター煉瓦館 歴史公園内 内容：各商店が軽トラ及びそれに準じた車両にて自社商品・地場産品等の販並びにPRを行い歴史的建造物の煉瓦館において開催。当初は10月28日(日)に開催予定であったが雨天の為、順延となり春の暖くなるタイミングとして平成25年3月10日(日)開催する。 28台の軽トラ車両等を一同に集め販促開拓を実施。熊取町と連携を密にし、大阪ミュージアム構想になっている『煉瓦館』・『中家住宅』周辺を中心としたエリアを有効利用し町内企業の商業PR等推進の場として実施。広報関係に対しては、熊取町(HP・広報誌・町内防災無線)・商工会(HP・郵送案内・ポスター掲示・ミニコミ誌掲載等)実施。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	会場設営の協力・広報活動に対する協力		
	④相談相乗	POPの作成や商品レイアウト等の支援を行い、顧客の目を引きつける手法等を検討することにより、出店者からは今回の支援によりPOP・レイアウトの考える機会がもてたことが企業にとってとても良かったとコメントも頂けた。							
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	28	支援実績率	93.3%	満足度	70
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	支援企業数は30社の目標であったが28社の支援となった。大阪ミュージアム構想にある『煉瓦館』・『中家住宅』があるエリアを活用することにより、来場者数はいつもの休日より賑わい期待以上の来客が見込めた。ただ、午後から天候が荒れ、強風と雨に見舞われたのが悔やまれたが参加者からは概ね満足が得られた回答を得る。今回、参加された方々からは、企業のPR及び販促の場が設けられることにより、店舗販売以外でのPR方法POPの作成や商品のディスプレイ等の考える機会がもてたことは大変良かったとコメントをいただく。							
		指標	新規顧客獲得・売上増加した事業所						
		数値目標	20	実績数値	16	目標達成度	80.0%		
	成果の代表事例	パン・ロールケーキを販売された企業さんの商品が完売され尚且つ、追加で持ち込んだ商品まで完売した。また、漬物を販売した店舗では一日数個しか販売がない商品が軽トラ市では、飛ぶように売れたなどのコメントもあった。また、当日の販売より自社の商品PRが出来たことや他の参加者との交流が出来き情報交換が出来たことが良かったとのコメントもあった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	600	目標値(実績)	500	目標達成度	83.3%			
	午後からの天候悪化あり、目標数値に少し及ばなかった。ただ、午前中の集客は思った以上に多く、臨時駐車場が満車になることもあった。								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	当初10月28日(日)に開催予定であったが雨天の為、翌年の3月10日(日)に開催。 今回の事業を踏まえ雨天時の対応を今後どうするかが必要だと感じた。3月10日(日)開催にあたっては午後から雨天になり来客の足が途絶えたなど、雨対策の必要性が今回の事業によって改めて確認できた。また、事業後の店舗への来店を促進させる為の支援が必要と感じた。							

熊取町商工会

事業名		ものづくり展							
想定する実施期間		19 年度～ 年度まで ※複数年度段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	長引く景気低迷により、ものづくり産業の環境にも様々な影響をもたらしい状況にある。こうした要因を打開すべく一助として、自社の技術や製品等を広くPRすべくものづくり展を実施し、地域事業者との商談や地域住民へのアピールする場を提供することにより販路の拡大を促し、また出展企業間による交流会を実施することによりBtoBの実現や異業種間とのコラボレーション等ビジネスチャンスの創出へと繋げることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	熊取町・泉南市・阪南市商工会管内のものづくり業者で、自社の製品や技術、サービス等を地域の事業者や地域住民等に対してPRを行い販路の開拓を行いたい事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	ものづくり展事業担当者会議(4回) 6/1・9/13・10/10・1/28 ものづくり展事業実行委員会(3回) 6/26・10/19・2/8 ものづくり展事業に係る出展説明会・交流会10/29 (自社PR並びに事業所間情報交流・商談機会の交流会) 広報活動 3商工会管内ポスター掲示やHP・広報紙掲載、3市町広報紙掲載、泉南イオン内掲示板ポスター・HP掲載、事業所への配布、ミニコミ誌等への記事提供、CATV「Home Townウィークリー」インフォメーションコーナーにて11/5～11/11紹介PRを放映、CATV「Home Townウィークリー」にて11/19～11/25開催時の模様を放映 ものづくり展 於イオンモールりんくう泉南1階セントラルコート 平成24年11月9日(設営・準備) 平成24年11月10日・11日(展示会)							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携						④相談相乗	展示素材の選定やディスプレイ、POP、商談、アプローチ等の支援を行った。	
	②広域連携	熊取・泉南・阪南が連携し事業遂行のための担当者会議やPR出展募集等を行い、より多くの方に見て頂き、また事業所へのサポートや商談の機会を持つことができた。					③市町村連携	熊取・泉南・阪南市町と連携し、実行委員会による意見を集約し事業遂行における広報PR・後援・遂行の為にバックアップ等頂き、ものづくり展を成功裡に終了することができた。	
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	34	支援企業数(実績)	31	支援実績率	91.2%	満足度	74
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	2日間で延べ2万人の方が来場され285名のアンケート回答結果を得、感想として95%の方が「良かった」との評価を頂き、地元ものづくり産業に興味や好感、応援の言葉を多数頂き、幅広くアピールすることができた効果があったと思われる。また出展者のアンケート調査では、「事業所間での取引が生まれた」「同業他社の製品を知り新製品の開発に役立った」「製品の問題点や改良点等見出すことができた」「商談の話が持ち上がり様々な出会い、興味深い話等聞けた」等各々の事業所に置いて積極的にPRし、販路開拓や自社製品のアピール・企業間コラボの創出にも効果があった。また、一般消費者に接することにより「直接意見を聞く機会が持て売れ筋の参考となった」「どのような製品に関心があったか従業員自身が実感できた」「製品の良さを知って頂き評価も良かったので効果があった」等一般消費者にも積極的にアプローチ・PRをすることによりより良い製品作りの参考になった貴重な機会を提供できた。今回に実施により各々の事業所が積極的にアピール等を行ったことにより新たな事業の進展に刺激を与えることができたと思われる。							
		指標	商談の成り立つ可能性のある事業所						
		数値目標	30	実績数値	23	目標達成度	76.7%		
	成果の代表事例	出展事業所間のマッチングとして、バイクマフラー等を製造しているP事業所がA社と鋼材の仕入についての商談中であり、またB社に海外輸出についての話を持ちかけたところ、B社よりC商社を紹介してもらい商談機会を提供頂き、近々P事業所とC商社と会う予定になっている。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	1,020	目標値(実績)	922	目標達成度	90.4%			
	事業所間で商談機会での増減はあるものの概ね目標を達成しており、多数の来場者にアピールすることができ販路開拓やPRに効果があったものと思われる。								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	2日間で延べ2万人に来場頂き、BtoCの面においてはかなりのPR効果はあった。また事業所間の交流も盛んに行われ事業機会を提供することができたが、事業所間での商談機会を与え成り立つ可能性のある事業所はあったが、商談へと結びついた事業所が少なかつたように思われた。また開催に当たり様々なPR活動を行ってきたがより効果的なアピールを模索し多くの方に知って頂けるようなアプローチ、仕掛けや取組を検討し次年度以降の課題として取り組みたい。							

熊取町商工会

事業名		新エネルギーセミナー							
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	以前より、『新エネルギー』への関心は高まりつつあったが、昨年3月の大震災以降慢性的な電力不足が続き、『新エネルギー』の開発・導入の必要性が飛躍的に高まっており、市場拡大は必至である。しかしながら、小規模のものづくり中小企業の中では『新エネルギー』への知識がまだまだ低く、参入の検討や導入の必要性を感じているがその方法がわからない事業所も数多くある。そこで『新エネルギー』に関するセミナーをおこなうことにより、知識を高め、参入や導入へのきっかけづくりをおこなう。また、近隣商工会との共同でおこなうことにより、同じ志しをもつ近隣市町内の事業所のつながりをつける							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉州地区内のものでづくりを中心とした『新エネルギー』に関心を示す中小企業							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	大阪府商工労働部 新エネルギー産業課清水課長補佐と打ち合わせをおこない、セミナーの内容及び講師調整を行った。 1 実施時期 平成24年9月25日(火)午後1時30分より午後3時00分まで 2 実施場所 熊取町商工会館 3階研修室 3 テーマ・講師 ①「スマートエネルギーシステムの将来展望とビジネスチャンス」株式会社富士経済大阪マーケティング本部 鷹羽 毅氏 ②「新エネルギー関連施策の紹介と新エネ産業への参入事例」大阪府商工労働部新エネルギー産業課 清水雅巳課長補佐 ＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞							
	①府施策連携	新エネルギー産業課清水雅巳課長補佐と連携し、セミナー内容及び講師の依頼を行った。							
	②広域連携	泉南市・阪南市・岬町・熊取町商工会での共同開催を行い募集の周知広報等を実施。							
③市町村連携	各市町の後援名義及び市町のホームページに掲載								
④相談相乗	マーケティング・コスト削減等のカルテ化に繋げた。								
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40	支援企業数(実績)	42	支援実績率	105.0%	満足度	62
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	東日本での大震災後、電力不足の問題が注目される中、新エネルギーの重要性に大きな関心を感じている。特に泉州地域は繊維産業が多く、電力消費量が多く、出席者の新エネルギーへの移行への関心が高い。出席者のなかでは、専門用語も多く理解しづらい内容もあったが、将来の展望に向けたスマートエネルギーの重要性が認識された。							
		関心を持った企業数							
		数値目標	10	実績数値	11	目標達成度	110.0%		
	成果の代表事例	家電製品の販売・工事をおこなっている事業主は、蓄電池等の利用による新しいビジネスチャンスとして活用させたいと考えられている。建設業の経営者は、住宅建設の太陽光発電等の普及啓発に取り込みたい意向を示している。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	#DIV/0!			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今後、大阪府商工労働部の新エネルギー施策の紹介等をPRしていく。平成25年度は、「BCP普及促進セミナー」の開催を予定しているので、新エネルギー課と連携して、電気自動車(EV)の蓄電池を活用した災害対策もPRし、EV普及につなげる予定である。							